



西院小の窓

学校だより「前期学校評価」特別号

令和7年 11月吉日

京都市立西院小学校校長 坂本 恵一

1回目 学校評価の結果から

7月にご協力いただきました「前期学校評価」の集計結果と考察を報告させていただきます。
お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。この結果をもとに、学校の様々な取組を再確認し、よりよい学校づくりに生かしていきます。

<今年度の学校の取組>（文中の割合は肯定的な回答（「Aよくあてはまる」「Bあてはまる」）を示す）

本校では、学校教育目標「夢に向かって 自分を大切に し 他とのつながりを大切にできる子の育成～一人一人が輝き 愛される西院の子～」の実現のため、すべての教育活動の中で主体的・対話的で深い学びを実践し、児童の自己指導能力を育成することを目指し取り組んでいます。そして、生徒指導の実践上の4つの視点と言われる「自己存在感の感受」「自己決定の場の提供」「共感的な人間関係の育成」「安全・安心な風土の醸成」を意識した授業展開の工夫を行っています。また、人権教育を基盤とした取組を進めています。※○・・・成果、●・・・課題

【めざす子ども像1】 自ら進んで学習し、互いに高め合う子(確かな学力)について

○学びのつながりを意識した指導の浸透

「学習で学んだことを他の学習に生かしている」では、保護者の方の数値が2.4ポイント上昇していました。学校では、各教員により教科横断的な学びや単元間の関連づけを意識した授業が行われていますが、そのことが今回の成果に繋がっているのではないかと考えています。

○安心して学べる環境

「子どもが安心して学べる学校・学級」については、保護者の方の数値が94.8%と、非常に高い数値を示していました。学校では、日々、子どもたちと関わる上で、常に承認の言葉を大切にしながら、教育活動に努めています。また、各学級において何を話しても、互いに受け入れてもらえるという安心安全な教室の雰囲気づくりにも取り組んでいます。学級経営や支援体制を今後も安定したものとし、子どもたちの安心安全を引き続き、大切にしていきたいと思っています。

●話し合い活動の理解と評価の差

「話し合い活動」について、児童の数値とは反対に、保護者の方の数値が大きく低下（-9.4P）していました。学校においては、実際に活動を計画する側（教師）、進める側（児童）の理解と、その様子をなかなか見る機会が少ない側（保護者）のすれ違いが起こることが予想されます。今後、話し合いの目的や成果が保護者の皆様にも十分伝わるよう、授業参観等に工夫を取り入れていきたいと思っています。

●GIGA 端末の活用の質

ICT 機器の利用については、担当者により活用状況に差があることも、事実として挙げられ、活用に関する知識や力量の標準化（統一）が、課題としても考えられます。今後、児童の主体的な活用を促す指導の工夫を引き続き模索していきたいと考えています。

●夢や目標への意識の育成

「夢や憧れをもって努力している」では、児童の数値には、あまり落ち込みは見られませんでした。しかし、今後、総合的な学習時間中心に教科横断的な学習の中で、学校として、キャリア教育に力を注いでいくことを視野に入れることはもちろん、その目標設定や児童への支援をどうしていくかなど、具体的な支援を考えていきたいと思っています。

【めざす子ども像2】 互いに認め合い、自分も友達も大切にする子(豊かな心)について

○児童が学校生活を楽しむことができる

「楽しく学校生活を送っている」では、児童 92.2%、保護者 95.2%と、非常に高い数値を示している。このことから、昨年度に引き続き、子どもたちが安心して過ごせる環境が整っており、日々の教育活動が児童の心の安定につながっていることが分かる。

○友だちを思いやる心が育っている

「友だちのよいところを見つけ、大切にしようとしている」では、児童 95.2%、保護者 96.2%と、非常に高い数値を示していました。これは、普段の人権教育の取組や今年度の研究の柱である生徒指導の4つのポイントを重視した取組がよい影響を及ぼしているのではないかと考えています。今後も、日常の子ども同士の関わりを通じて、互いに相手を尊重する姿勢を育んでいきたいと思っています。

●保護者との認識のギャップ

「整理整頓・清掃」に関して、保護者の方の数値が55.9%と非常に低く、前年度比でも-7.1Pと大きく下がっていました。しかしながら、児童の数値は、88.6%と低いものとなっていませんでした。このことから、学校での子どもの取組や学校の手立てが家庭に十分に伝わっていない可能性があるため、子どもたちの学校生活での頑張りをアナウンスする方法に工夫を凝らしていきたいと考えています。

●あいさつの定着には家庭や地域との連携が必要

保護者の方の数値が73.5%とやや低くなっていました。児童の数値を絡めて考えると、学校内での取組は、学校だけで実践できる力となっており、子どもたちにとってのその力が地域や家庭での実践につながっていない可能性があることが予想されます。今後、家庭や地域と連携しながら、子どもたちのあいさつの力を広げていけたらと考えています。

【めざす子ども像3】 身も心も鍛え、命を大切にする子(健やかな体)について

○安全に生活する意識

「交通や学校のルールを守って安全に生活している」では、児童・保護者ともに 90%以上の高評価となっていました。このことから、登下校の安全指導や学校での生活指導が効果を上げていること、児童の安全意識が高まっていることが分かりました。もちろん、地域の見守り隊の方々の日常における見守りや交通安全教室などへの協力が成果に大きく繋がっていると考えています。今後も、安全に対する意識を大切にしていきたいと思っています。

○運動習慣の改善

体育の学習や休み時間の活動が活発になっていることはもちろんのこと、教職員自身が子どもたちに積極的に体を動かすことを促していることが今年度の大きな変化の一つとなっています。また、各学級における学級活動の充実から、みんな遊び等の企画実行により、子どもたちが積極的に外遊びをする機会が上昇してきていることが分かりました。

●家庭での運動習慣の定着

「進んで体を動かしている」では、保護者の方の数値が 75.6%とやや低めとなっていました。このことから、子どもたちは学校において、積極的に運動をする習慣やその機会が増えてきていることが事実として挙げられる一方で、家庭での運動機会については、意識づけが十分でない可能性があることが考えられます。もちろん、子どもたちの家庭での過ごし方は様々であるため、家庭での運動習慣の定着が難しい理由は、一概に理由はこれと言いきいにくい現状があります。学校では、引き続き身体を動かすことの大切さや、運動と健康との繋がりについても啓発していきたいと思っています。

<保護者による学校(自由記述)>

自由記述欄には、様々な視点から多くのご意見お考えをいただきました。本当に有難うございます。ここで全てのご意見にお答えすることはできませんが、いくつかご回答させていただきます。

地域委員や集団登校に関するご意見をたくさんいただきました。本校では、これまでも地域委員さんを中心として、子どもの安全を確保すべく、児童の集団登校時に、たくさんの保護者の方による旗当番が進められています。しかしながら、保護者の皆様も日々お忙しくされている中で、ご協力いただいているということもあり、たくさんご無理していただいているという現状もあります。今後も、学校としましては、児童の安全について地域委員会の方々保護者の皆様と協力していきたいと考えています。

子どもたちの安心安全を守っていくべく、貴重なご意見をいただき、本当に有難うございました。

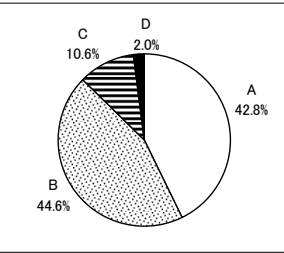
<学校運営協議会の皆様のご意見>

「言葉には、様々な使い方があり、時代によって言葉は変化していく。だからこそ、言葉の捉え方や理解の仕方は重要である。」というご意見がありました。言葉の使い方、受け取り方もそうですが、学校では、普段から人との関わりを大切にすることで、今後もよりよい人間関係を築いていく必要があると考えています。

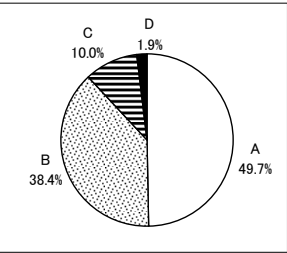
児童アンケート

(A…よくあてはまる、B…あてはまる、C…あまりあてはまらない、D…まったくあてはまらない)

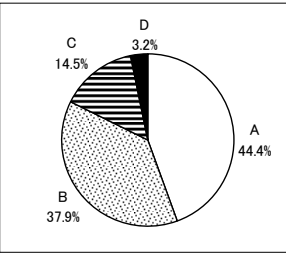
① 分かるまで、粘り強く学習している。



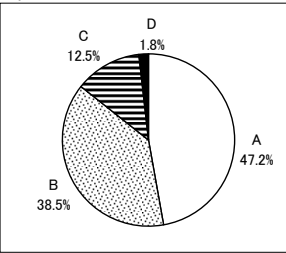
② 自分の思いや考えを目的に合わせて書いている。



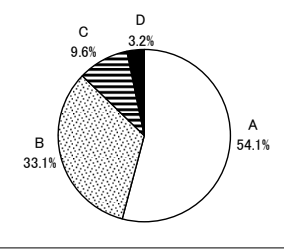
③ 自分の思いや考えを友だちや先生に伝えている。



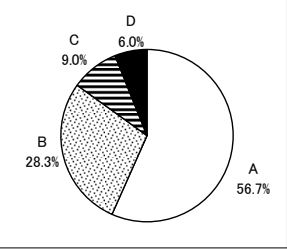
④ 話し合い活動では、友だちの考えを知り、自分の考えを深めたり、広げたりしている。



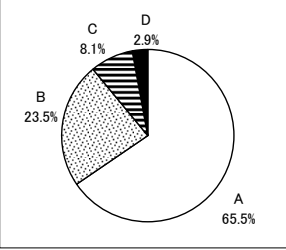
⑤ 学習で学んだことを他の学習に生かしている。



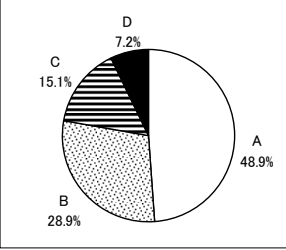
⑥ 色々な学習の場面で、意欲的にGIGA端末やタブレットを使い、学習をしている。



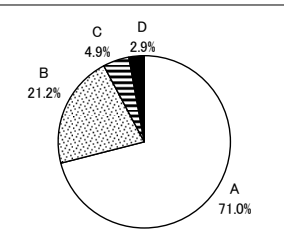
⑦ 夢や憧れをもって、目標に向かって努力している。



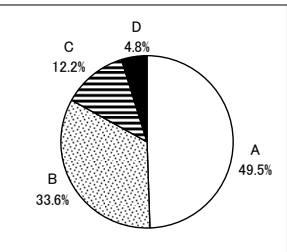
⑧ 進んで本を読んでいる。



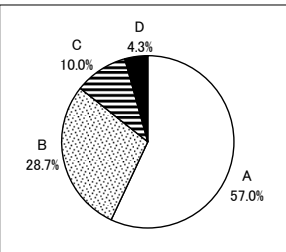
⑨ 楽しく学校生活を送っている。



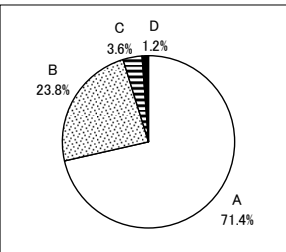
⑩ 自分から気持ちのよいあいさつをしている。



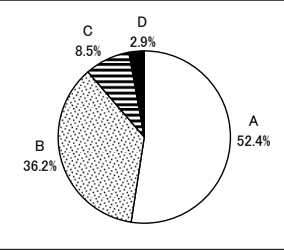
⑪ 自分には、よいところがある。



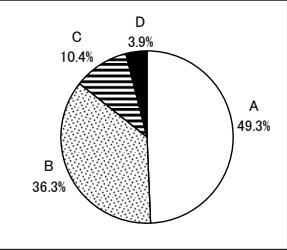
⑫ 友だちのよいところを見つけ、友だちを大切にしようとしている。



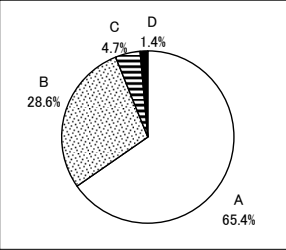
⑬ ものを整理・整とんをしたり、進んで掃除をしっている。



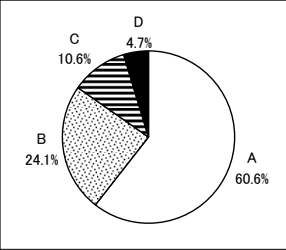
⑭ こまめに手洗い・うがいをしている。



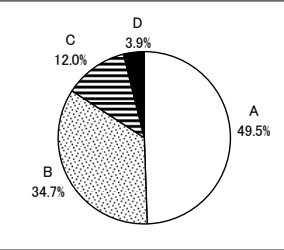
⑮ 思い込みや見た目で判断せず、友だちを傷つけることを言わないようにしている。



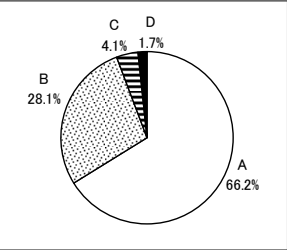
⑯ 進んで体を動かしている。



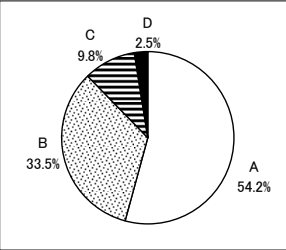
⑰ 早寝・早起き・朝ご飯・排便などの生活リズムや健康に気を付けている。



⑱ 交通や学校のルールを守って、安全に生活している。



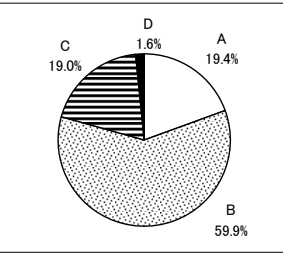
⑲ お家の人のことを大切に思い、お手伝いをよくしている。



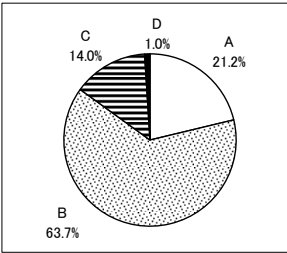
保護者学校評価 ～保護者から見た子ども～

(A…よくあてはまる、B…あてはまる、C…あまりあてはまらない、D…まったくあてはまらない)

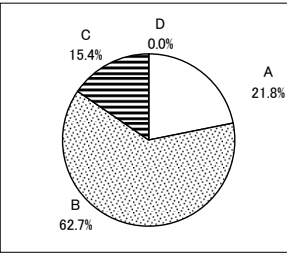
① 分かるまで粘り強く学習している。



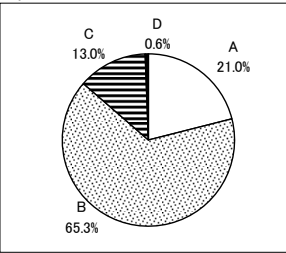
② 自分の思いや考えを目的に合わせて書いている。



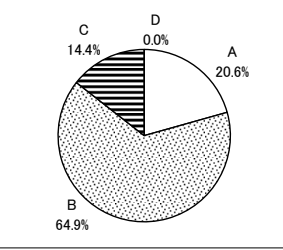
③ 自分の思いや考えを友だちや先生に伝えている。



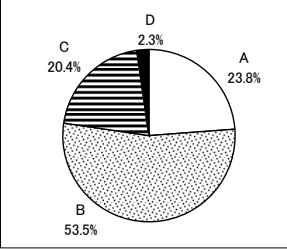
④ 話し合い活動では、友だちの考えを知り、自分の考えを深めたり、広げたりしている。



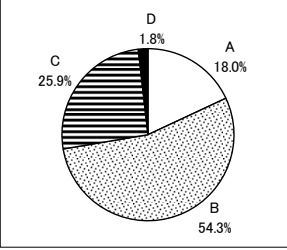
⑤ 学習で学んだことを他の学習に生かしている。



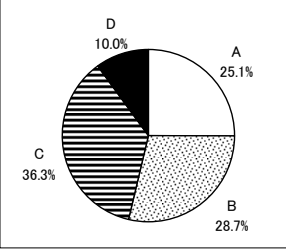
⑥ 色々な学習の場面で、意欲的にGIGA端末やタブレットを使い、学習をしている。



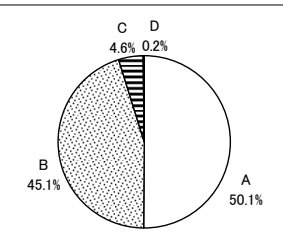
⑦ 夢や憧れをもって、目標に向かって努力している。



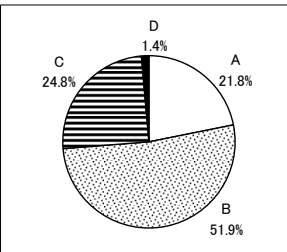
⑧ 進んで本を読んでいる。



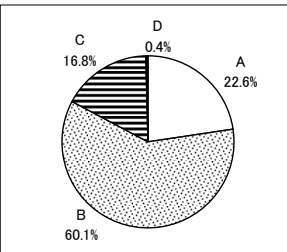
⑨ 楽しく学校生活を送っている。



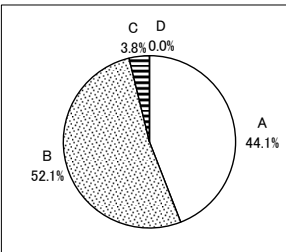
⑩ 自分から気持ちのよいあいさつをしている。



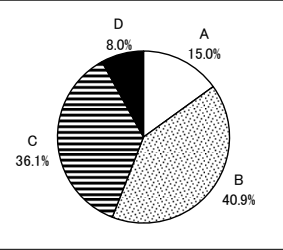
⑪ 自分のよいところに気付いている。



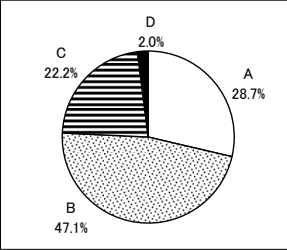
⑫ 友だちのよいところを見つけ、友だちを大切にしようとしている。



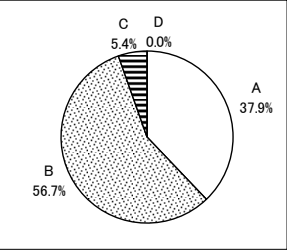
⑬ ものを整理・整とんをしたり、進んで掃除をしっている。



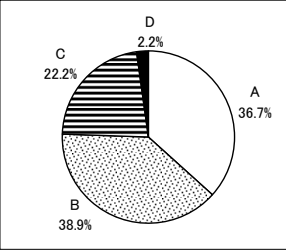
⑭ こまめに手洗い・うがいをしている。



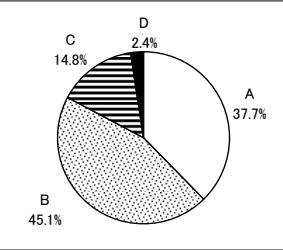
⑮ 思い込みや見た目で判断せず、友達を傷つける発言をしないようにしている。



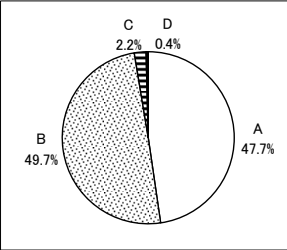
⑯ 進んで体を動かしている。



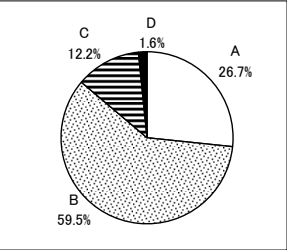
⑰ 早寝・早起き・朝ご飯・排便などの生活リズムや健康に気を付けている。



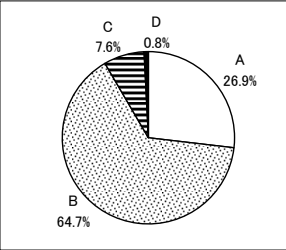
⑱ 交通や学校のルールを守って安全に生活している。



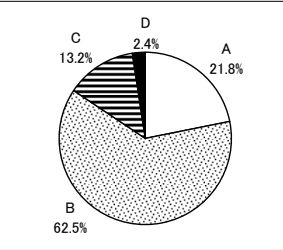
⑲ お家の人のことを大切に思い、お手伝いをよくしている。



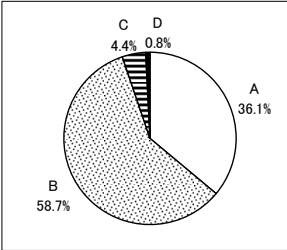
⑳ 子どもの力を引き出すことを心がけた授業が行われていますか。



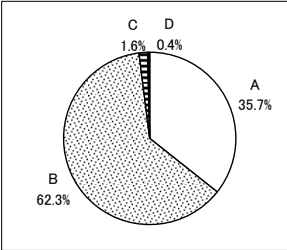
㉑ 一人一人の子どもに合わせた学習のサポートが行われていますか。



㉒ 子どもが安心して学べる学校・学級になっていますか。



㉓ 整理整頓された学習しやすい環境になっていますか。



㉔ 学校・学年・学級の方針や取組の様子がよく分かるように伝えられていますか。

